

ブロックチェーン技術を活用した勤怠管理サービス 「ブロックログ」の今後の展開について

当社はブロックチェーン技術を適用し、場所データと出退勤時間を結び付けた勤怠管理システムの開発に着手し、サービス化することをすでに発表しておりますが、この度当社は、本サービスの名称を、「blockchain（ブロックチェーン）」の略「block」+「log（記録）」を組み合わせ、「ブロックログ」に決定いたしました。

当社は、40年以上にわたり金融業を中心に製造業・公共事業・流通業等のシステム開発をおこなっており、現在、フィンテック関連ビジネスを戦略的注力領域に掲げ、特にコア技術のブロックチェーン技術に注目し、国内最大の「仮想通貨のシステムインテグレーター」を目指し、様々な取り組みをおこなっております。

2017年3月21日付「勤怠管理にブロックチェーン技術を適用したシステムの開発に着手」にて発表しましたとおり、当社は、フィンテック技術のひとつであるブロックチェーンを応用した勤怠管理システムの開発を進めてまいりましたが、この度、スマートフォンをデバイスとした、場所と時間のデータを収集する機能モジュールの開発・検証が完了いたしました。現時点では、出退勤のイベントトリガーにはスマートフォンのGPS機能を利用しております。バックグラウンドにおいて、GPSデータを利用する際の機能モジュールのエネルギー消費を最小限に抑え、バッテリーの消費を意識せずに本機能を利用できることを確認いたしました。

さらに、本勤怠管理システムで採用したブロックチェーンプラットフォーム、Ethereumに関するAPIモジュールの開発および、スマートフォンとブロックチェーン間の場所および時間データの連動に関する検証も終了し、今後は業務モデルに従って、勤怠管理機能モジュールの開発を中心に進め、本年6月を目途にベータ版を公開する予定です。

なお、当社のグループ会社である、株式会社ネクスグループ（JASDAQ上場、証券コード「6634」、本社：岩手県花巻市、代表取締役：秋山 司、以下、「ネクスグループ」）がおこなう農業ICT事業「NCXX FARM」において、当社の「ブロックログ」が導入されることとなりました。

「ブロックログ」開発においては、通信技術・デバイスに優位性を持つネクスグループより、場所データの特典等に関し協力を得ており、今後もネクスグループのIoTとブロックチェーンを連携させ、自立稼働する仕組みの研究を両社で続け、より付加価値が高く、ユーザーの利便性を考慮したサービスの提供を目指してまいります。

以上

＜本件に関するお問い合わせ先＞
株式会社カイカ
TEL 03-5657-3000